

2026.07.17

2026年度立命館地理学会大会のご案内（第1報）

2026年度（第38回）立命館地理学会大会（後援：立命館人文学会、立命館大学「文学部創立100周年記念事業」具体化委員会）を下記のとおり開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

日 時： 2026 年 11 月 28 日（土）13 時 00 分開始予定

今年度は大会（研究発表・シンポジウム）の前に総会を開催いたします。

確定次第、学会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご確認ください。

場 所： 立命館大学衣笠キャンパス 明学館 MG301 教室

2025 年度優秀卒業論文発表：

発表 1：島根 隆寛（2025 年度地理学専攻卒業）

「高松市における分譲マンション供給と土地転用の展開—開発業者の地域性に着目して—」

発表 2：辻田 裕紀（2025 年度地域観光学専攻卒業）

「三重県湯の山温泉における外来資本の参入とその特性—廃業後の宿泊施設に着目して—」

大会シンポジウム：「鉄道と地域研究—鉄道ファンからの脱却—」

趣 旨： 鉄道の趣味的愛好者（ファン）は少なくない。列車に乗る「乗り鉄」、鉄道写真を撮る「撮り鉄」、走行音や各種アナウンスを録音する「録り鉄」、そして廃止前の最終列車に集まる「葬式鉄」など、ファンの活動は様々である。しかし、彼らの興味関心は必ずしも研究へと昇華していない。

地理学をはじめとする地域研究においても、その熱い視線をどのように学術的研究へと繋げていくのか、戸惑う学生は少なくない。そこで本シンポジウムでは、鉄道ファンを研究の世界へ誘う提案をしたい。ベテランと若手の地理学研究者、そして紀行作家の視点より「ファンからの学術的脱却」を試みたい。

招待講演：

講演 1：森田 耕平（立命館大学 文学部 特任助教）

「鉄道貨物輸送の歴史地理学的研究の試み」

講演 2：蜂谷 あす美（旅の文筆家）

「鉄道趣味の行き着く先は地図—旅も歴史も、そして文学も—」

講演 3：香川 貴志（京都教育大学 名誉教授）

「成熟社会で期待される都市交通—路面電車にみるバリアフリーとユニバーサルデザインの思想—」

パネルディスカッション： 座長：河原 典史

連絡先： 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学文学部地理学教室気付

立命館地理学会集会委員会

e-mail (geojimu@st.ritsumeai.ac.jp)

FAX 075-465-8296